

県内の経済雇用情勢と施策の実施状況について (平成25年2月)

企業活性化・雇用緊急対策本部

1 県内の経済雇用情勢について

- ◆ 県内経済は、個人消費は全体として底堅く推移しているものの、製造業で円高や海外需要の減少などの影響を受けており、雇用面でも製造業の拠点再編等による影響が現れてきている。
- ◆ 1月の有効求人倍率は、0.67倍と前月を0.05ポイント下回っており、依然として厳しい状況が続いている。

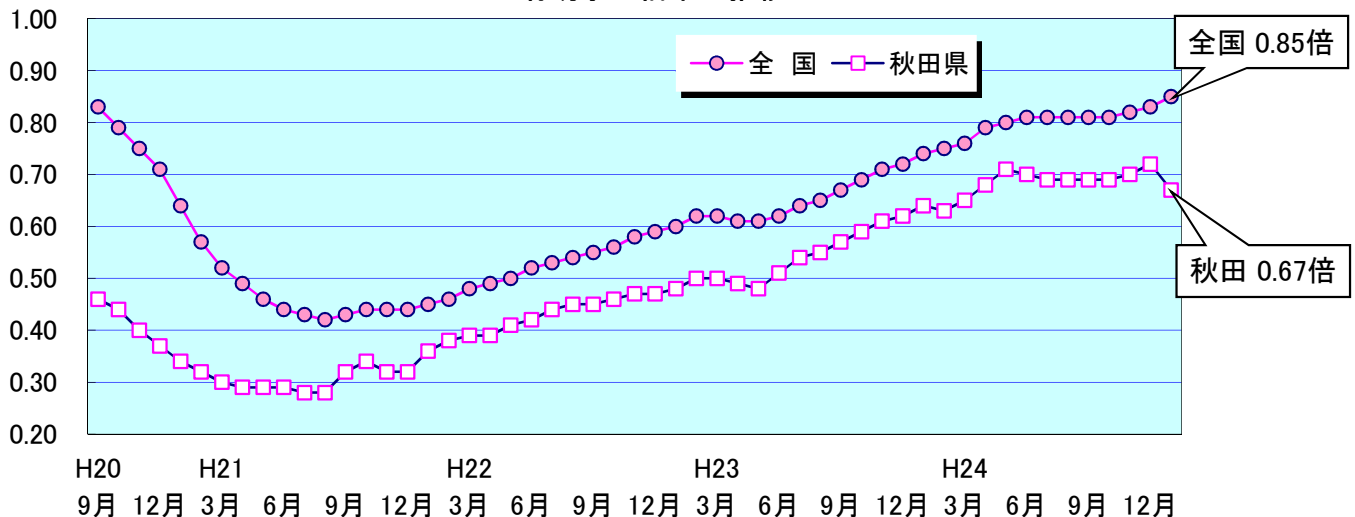
1) 県内経済動向調査結果（平成25年1月分）

製造業	スマートフォン向け製品等の生産が底堅く推移しているものの、総じて海外需要の減少などによる影響がみられる。
建設業	公共投資は前年同月を上回った。
小売業	惣菜や季節家電等の売れ行きが底堅く推移している。
サービス業	旅館・ホテル業で宿泊部門が伸び悩んだものの、運輸業で貨物取扱が堅調に推移している。

2) 有効求人倍率（平成25年1月）

0.67倍（前月より0.05ポイント低下）

（倍） 有効求人倍率の推移



(注)平成24年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。

3) 離職者の状況（平成25年2月）

- ◆ 平成25年2月：6社 97人（前年同期比 + 3社、+ 54人 / 前月比 ▲ 6社、▲ 77人）
- ◆ 今後の見込み：8社 343人
- ※1社10人以上で、労働局、企業訪問等からの情報により把握した離職者数

2 平成25年3月新規高卒者職業紹介状況（平成25年1月末現在、秋田労働局発表）

- ◆ 県内就職希望者数：1,675人（前年同期比 + 85人、+ 5.3%）
- ◆ 県内求人数：2,370人（前年同期比 + 363人、+18.1%）
- ◆ 県内就職内定者数：1,463人（前年同期比 + 55人、+ 3.9%）
- ◆ 県内就職内定率：87.3%（前年同期比 ▲ 1.3ポイント）

3 緊急経済・雇用対策事業の進捗状況（主な事業）

緊急経済・雇用対策として、①金融対策・資金対策の強化、②雇用対策、③消費の下支え対策による県内需要の拡大、また、緊急かつ短期集中的に、④離職者対策、⑤企業支援による雇用の創出を中心に事業を実施している。その主な事業の進捗状況は次のとおりである。

（2月28日現在）

	事業名	事業概要及び進捗状況
① 金融	経営安定資金 （緊急経済対策枠）	受注減や取引企業の倒産により経営不振に陥っている中小企業に対し低利な事業資金を提供 ・ 限度額：2億円 ・ 保証料：0.18%（通常0.88%） ・ 利率：1.75% ・ 融資枠：2,700億円（うちH24 500億円） ----- H20～23 2,275億円 H24 350億円（うち2月分 23億円） 合 計 2,625億円
② 雇用	雇用対策事業	雇用対策基金等を活用し、将来の雇用やキャリア転換に役立つ事業、研修等を実施する。 H24年度新規雇用予定数：2,861人 ----- H20～23 県 4,700人 市町村 6,841人 H24 県 1,027人（うち2月分 67人） 市町村 1,355人（うち2月分 16人） 合 計 13,923人 ※新規雇用実績
③ 消費 拡大	住宅リフォーム 推進事業	住宅の増改築やリフォーム工事費の10%を助成（上限20万円） ----- H21～23 27,412件（H22.3.1～H24.3.31） H24 12,535件（うち2月分 215件） 合 計 39,947件 ※申請件数
	あきた企業チャレンジ 応援事業	県内に工場、事業所等を新增設、集約する企業に対し、初期投資や雇用に必要な経費の一部を助成 ----- H20～23 58件 H24 14件（うち2月分 2件） 合 計 72件 ※申請件数
④ 離職者 対策	緊急就職サポート事業	〈企業による人材育成枠〉 離職者等を雇用して行う人材育成経費に対し助成 ----- H24 72件（うち2月分 32件） 合 計 72件 ※申請件数
⑤ 企業 支援	農林漁業の6次産業化 拠点施設整備事業	民間事業者と農業者が連携して農業の6次産業化に取り組む際の拠点施設整備に対し助成 ----- H24 1件（うち2月分 0件） 合 計 1件 ※申請件数